Part 1

平成24年度名誉総裁表彰式典

お言葉を述べられる名誉総裁高円宮憲仁親王妃久子殿下

水難救助および洋上救急の功績に対し、３団体・３個人が表彰されました

平成２４年５月２８日、海運ビル(東京都千代田区平河町)において、名誉総裁である高円宮憲仁親王妃久子殿下のご台臨のもと、来賓として前田武志国土交通大臣(当時)、鈴木久泰海上保安庁長官、琴陵容世金刀比羅宮宮司をお招きし、「平成２４年度名誉総裁表彰式典」を盛大かつ厳かに執り行いました。

式典では、受賞者に対し、名誉総裁から名誉総裁盾(対象：団体)又は名誉総裁章(対象：個人)が直接授与されるとともに、名誉総裁表彰審査委員会委員長の相原力会長から表彰状又は感謝状が伝達されました。

名誉総裁表彰式典の様子

ご来賓の皆様(左から前田武志国土交通大臣(当時)、鈴木久泰海上保安庁長官、琴陵容世金刀比羅宮宮司)

名誉総裁表彰審査委員会
委員長の挨拶

前田武志国土交通大臣(当時)より
祝辞をいただきました

名誉総裁章を受ける、長崎県水難救済会橘湾東部救難所 千々石支所の救助員、吉岡 靖彦氏と平野 竜磨氏

■平成２４年度名誉総裁表彰受賞者

海難救助功労(団体)

和歌山県水難救済会 紀南東部救難所串本支所 支所長　吉村 健三 氏

平成23年2月22日、和歌山県串本町安指漁港の沖合で瀬渡船が高波により転覆大破し、乗組員2名・乗客5名が海中に投げ出された。串本支所は救助船5隻・救助員13名を直ちに出動させ、岩礁・暗礁に囲まれた危険な海域の強風高波の中で迅速的確な救助活動により、漂流中の乗客3名を発見して一致団結して無事救助した。

海難救助功労(個人)

NPO長崎県水難救済会橘湾東部救難所 千々石支所
救助員 吉岡 靖彦 氏、平野 竜磨 氏、中田 翼 氏

平成22年7月28日、長崎県雲仙市の千々石海水浴場で遊んでいた高校生1人が高波にさらわれて50～60m沖合に流され救助を求めているのを、通りがかりの救助員が発見。高波が打ち寄せる中、救命胴衣を着けた救助員１名が救助に向かい、2名が被救助者の位置や潮流の状況等を確認指示するなど連携して救助活動を行い、高校生を無事救助した。

洋上救急功労(団体)

沖縄県立八重山病院(院長 松本 廣嗣 氏)

昭和60年10月から開始された洋上救急事業において、協力医療機関として長期間にわたり積極的に協力し、これまで36件の洋上救急事案に対して39名の医師・看護師を派遣。巡視船や航空機等に同乗して出動し、緊急に医師の加療を要する傷病者38人に対して医療処置を行った。

事業功労(団体)

若築建設株式会社 代表取締役社長　菅野 幸裕 氏

本会が行う水難救済事業の重要性を日ごろより深く認識され、青い羽根募金強調運動期間中には全社を挙げて青い羽根募金活動に取り組み、多年にわたり多額の寄附をし、もって我が国沿岸における海上の安全確保に大きく寄与された。

Part 2

平成24年度 海上保安庁観閲式及び総合訓練

単縦陣の受閲船隊（大型巡視船）

第56回海上保安庁観閲式及び総合訓練において、当会名誉総裁がご参観のため観閲船にご乗船

平成24年6月2日および3日の両日、「海上保安の日」記念行事の一環として、第56回海上保安庁観閲式及び総合訓練が東京湾羽田沖で2年ぶりに実施。全国から集結した巡視船艇・航空機によるパレードや、海難救助訓練などが行われました。

観閲船となった巡視船やしまには前田国土交通大臣（当時）が観閲官として乗船したほか、3日には当会名誉総裁の高円宮憲仁親王妃久子殿下がご参観のためご乗船。名誉総裁は船上で青い羽根募金活動を行っている海洋少年団員も激励されました。

名誉総裁ご乗船の観閲船・巡視船やしま

■観閲式の様子

前田国土交通大臣（当時）の乗船に先立ち、青い羽根を着けるミス日本「海の日」

観閲式に参加した東京救難所所属の救助船「曙光」

受閲航空機

名誉総裁高円宮憲仁親王妃久子殿下と青い羽根募金活動を行ったきさらづ・千代田区・大田区各海洋少年団の皆さん

巡視船やしま船上で海上保安庁音楽隊による演奏を観賞される名誉総裁高円宮憲仁親王妃久子殿下

巡視船やしま船上で青い羽根募金活動を行う海洋少年団を激励される名誉総裁高円宮憲仁親王妃久子殿下

巡視船そうや船上で募金活動を行っているガールスカウト神奈川県第33団

巡視船やしま船上で募金活動を行うきさらづ海洋少年団とミス日本「海の日」